

路地百選推薦書

推薦者氏名：大和田清隆

推薦する路地（のまち）の名称	三上家長屋の路地（紋屋図子の一角）
所在地	京都市上京区西陣紋屋町

【推薦する理由（路地のよいところ）】

京都に残る路地の中でも室町時代から続く、伝統ある職人長屋形式を残した珍しい長屋の路地。西陣らしい織物司が大家として住み、近年店子として何人かの若者が入居し、魅力ある空間として再生されている。



路地 の ま ち の 概 要	面積	約 h a	路地の延長	約 30 m
	まちの 成り立 ち、 特色等	三上家は室町後期より宮中に収める有職織物を取り仕切った織元である御寮織物司(紋屋と呼ばれた)が居住していた紋屋図子に唯一残る織物司(紋屋)で、今でも9軒の長屋が残されている。現在は、昔ながらの長屋の風情を求めて陶芸家の工房・教室、はちみつ専門店、写真家、建築家などが入居し、西陣の新しい立ち寄りスポットとなっている。		